

平成30年度 特定健康診査・特定保健指導の実施状況

図1 実施率の推移

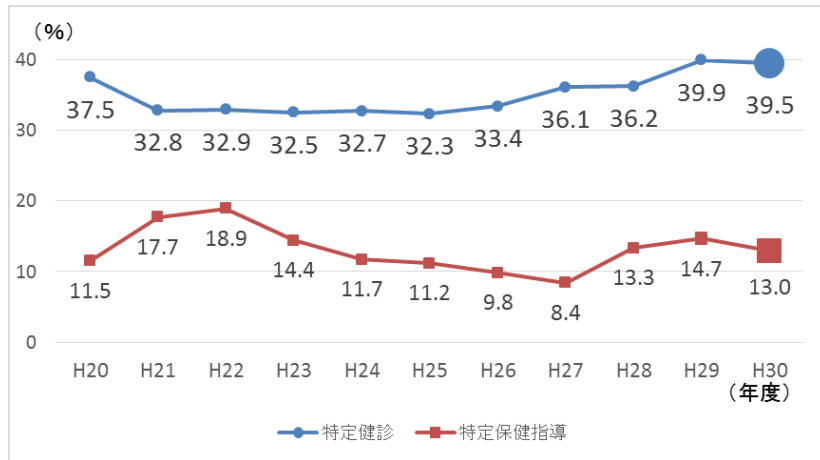


表1 H28～H30年度 目標と実績

		H28	H29	H30
特定健診	目標	43.0	45.0	39.5
	実績	36.2	39.9	39.5
保健指導	目標	30.0	35.0	16.5
	実績	13.3	14.7	13.0

表3 H30年度 実施内容と実施状況

特定健診	実施内容		H30年度の状況
	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)のリスクに着目した、生活習慣病を予防するための健診。40～74歳が対象。		対象者数: 135,858人 受診者数: 53,709人
保健指導	特定健診の結果、生活習慣改善の必要があるとされた方に実施する6か月間の保健指導。		対象者数: 6,192人 終了者数: 805人
	動機付け支援	初回面接+3～6か月後評価	対象者数: 4,893人 終了者数: 709人
	積極的支援	初回面接+毎月の継続支援+3～6か月後評価	対象者数: 1,299人 終了者数: 96人

表2 H30年度保険者間での実施率の順位

	政令市 20	県内市町村 54
特定健診	2 (→)	31 (↓)
保健指導	11 (↓)	48 (↓)

平成30年度 個別保健事業評価(概要)

目標	事業(対策)	H30年度事業概要	評価指標	H28	H29	H30			評価	
				実績	実績	実績	目標値	達成状況		
1	特定健康診査の受診率の向上	民間事業者に委託。対象者は、健診受診歴、過去の問診結果、年代、国保加入時期等で分類し、各分類に合わせた勧奨通知を送付した。また、携帯番号の登録がある方にはSMSで勧奨した。 ①はがきによる受診勧奨 1回目発送85,916件、2回目発送 90,794件 計176,710件 ②SMSで勧奨(8145件)	40～64歳の受診率	24.4%	26.5%	26.4%	26.6%	×	企画提案方式で前年度と同事業者が選定された。ノウハウを活用し、複数パターンの通知とショートメッセージサービスの勧奨を行ったが、同じ手法だったためか受診率は微減したが、受診勧奨は、受診率の維持にはつながっている。	
			65～74歳の受診率	44.1%	48.5%	48.0%	47.5%	○		
2	特定保健指導の実施率の向上	民間事業者に委託。対象者に3パターンの通知を送付し、動機づけ支援希望者と積極的支援対象者には架電による特定保健指導の利用開始及び継続利用を勧奨した。 H28より積極的支援の実施機関を健診実施医療機関以外に民間事業者にも拡大し、初回面接の夜間・休日実施や電子メール等による保健指導により、利用者の利便性を高めた。	長期未受診者*1割合	46.6%	45.7%	45.6%	44.0%	△	継続受診率は目標値を上回った。継続受診者は定着してきている。	
			継続受診率*2	74.7%	80.1%	76.9%	73.0%	○		
3	適正な医療の推奨と重症化予防	要医療となった方に、通知後、保健師などが訪問・電話により受診勧奨及び生活習慣の指導を行う。初回指導から6か月後に通院の有無及び生活習慣の改善状況を確認し、再度、指導を行う。対象者1,048人のうち、821人に勧奨した。 受診者に、健診結果の見方や生活習慣病予防について記載した冊子を配布した。生活習慣病のリスクが高い方には、健康課で実施している健康教室や健康相談等の案内を行った。 千葉市医師会と連携し、糖尿病性腎症の発症・重症化のリスクの高い方を対象に6か月間の保健指導を行う。R1年度は、32人に実施中。	利用率*3	17.2%	18.8%	17.7%	21.3%	×	・利用率が低下し、実施率は低下した。積極的支援の終了率は、年々、上昇している。 ・保健指導の未利用者には、通知発送後、積極的支援は全数に、動機づけ支援は希望者に架電勧奨したが、事務的な勧奨であったためか、効果が少なかった。利用につながれば、終了率は高い。	
			終了率*4	87.6%	85.3%	81.9%	87.6%	×		
3	適正な医療の推奨と重症化予防	要医療となった方に、通知後、保健師などが訪問・電話により受診勧奨及び生活習慣の指導を行う。初回指導から6か月後に通院の有無及び生活習慣の改善状況を確認し、再度、指導を行う。対象者1,048人のうち、821人に勧奨した。 受診者に、健診結果の見方や生活習慣病予防について記載した冊子を配布した。生活習慣病のリスクが高い方には、健康課で実施している健康教室や健康相談等の案内を行った。 千葉市医師会と連携し、糖尿病性腎症の発症・重症化のリスクの高い方を対象に6か月間の保健指導を行う。R1年度は、32人に実施中。	受療率	23.3%	25.0%	25.7%	25.3%	○	・受療率は、目標値を上回った。よりハイリスクとなる対象者には、保健指導の回数を増やすなど検討していく。	
			高血圧値の改善*5	男	130.1	129.9	130.2	129.9		×
3	適正な医療の推奨と重症化予防	要医療となった方に、通知後、保健師などが訪問・電話により受診勧奨及び生活習慣の指導を行う。初回指導から6か月後に通院の有無及び生活習慣の改善状況を確認し、再度、指導を行う。対象者1,048人のうち、821人に勧奨した。 受診者に、健診結果の見方や生活習慣病予防について記載した冊子を配布した。生活習慣病のリスクが高い方には、健康課で実施している健康教室や健康相談等の案内を行った。 千葉市医師会と連携し、糖尿病性腎症の発症・重症化のリスクの高い方を対象に6か月間の保健指導を行う。R1年度は、32人に実施中。	血糖コントロール不良者の割合の減少*6	40-64歳	0.91	0.97	0.92	0.87	△	・高血圧は悪化、血糖コントロール不良者の割合、脂質異常症の割合は、目標未達だが前年度より減少、または同値であった。
			脂質異常症の減少*7	65-74歳	0.65	0.79	0.78	0.61	△	
3	適正な医療の推奨と重症化予防	要医療となった方に、通知後、保健師などが訪問・電話により受診勧奨及び生活習慣の指導を行う。初回指導から6か月後に通院の有無及び生活習慣の改善状況を確認し、再度、指導を行う。対象者1,048人のうち、821人に勧奨した。 受診者に、健診結果の見方や生活習慣病予防について記載した冊子を配布した。生活習慣病のリスクが高い方には、健康課で実施している健康教室や健康相談等の案内を行った。 千葉市医師会と連携し、糖尿病性腎症の発症・重症化のリスクの高い方を対象に6か月間の保健指導を行う。R1年度は、32人に実施中。	新規透析患者数	136人	132人	115人	減少	○	・新規透析患者数は、前年度より減少した。	

\*1 5年間健診を利用していない者の割合      \*2 前年度の健診を受診している者全数のうち、当該年度健診受診者の割合。H29以前の数値は母数に資格喪失者も含む。      \*3 保健指導対象者のうち初回面接を受けた者の割合  
 \*4 初回面接を受けた者のうち3か月(H30) / 6か月(H29)間の指導を終了した者の割合      \*5 収縮期血圧の平均値(mmHg)      \*6 HbA1c8.4%以上の割合(%)      \*7 LDLコレステロール160mg/dl以上の割合(%)  
 達成状況 ○: 目標達成      △: 目標未達だが、前年度より改善または同値      ×: 目標未達、前年度より悪化

【総括】

・H30年度は、16項目の目標値のうち、5つの項目で目標値に達しており、目標は未達だが、前年度より改善している項目が5つとなっている。  
 ・特定健診の未受診者勧奨は、民間事業者のノウハウを活用して、通知発送した。2年度目は、受診率を向上させることは難しかったが、勧奨は受診率の維持につながるため、通知内容を検討し、勧奨業務を継続実施する。  
 ・特定保健指導は、勧奨から初回利用につながれば、終了率は向上するが、H30年度は、勧奨と実施を行う事業者が異なり、勧奨が実施につながらなかったと考えられる。R1年度は、専門職が実施と一体的に勧奨を行っているが、今後も効果的な利用勧奨が課題となる。  
 ・受療率は、目標に達しており、合後は、要医療となった者のうち、よりハイリスクとなる対象者には、支援時期を見直し、保健指導回数を増やすなど検討していく。